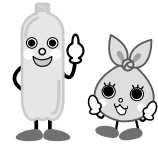


飛騨市の ゴミ処理

第8回 「ごみ処理手数料 の減免について」



第8回は、「ごみ処理手数料の減免」についてご紹介いたします。

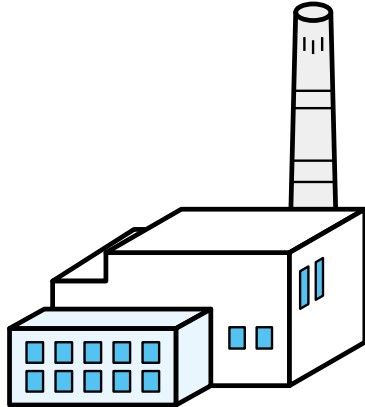
今回は利用しないことが一番ですが、有事の際に知っているという得をする制度です。

災害の発生などで被災した場合、「飛騨市廃棄物の処理及び清掃に関する条例・施行規則」により、ごみ処理手数料を減免することができます。

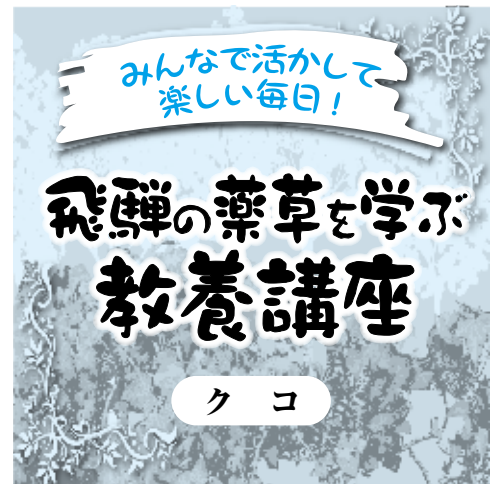
一般的に多い火災の場合は、消防署で「り災証明書」の交付を受け、それを持って市役所環境課の窓口で一般廃棄物処理手数料の減免申請を行ってください。

なお、減免申請ができるのは、一般廃棄物に限りますのでご注意ください。

※ごみの持ち込み際に際しては、飛騨市クリーンセンター、若しくは飛騨市リサイクルセンターへ事前にお問い合わせください。



問 クリーンセンター
リサイクルセンター
環境課
033-753-069
033-752-211
033-737-482



先月は体の解毒についてお話しました。今月は、体にじくくりと元気をつけていき、数年〜10年先に驚く程の若さを手に入れる、そんな働きを持つクコの実を紹介します。

クコの実はその鮮やかな紅さから、杏仁豆腐の上のにせるなど、中華料理のアクセント等として使われており、そのため食料店などでまとめ売りされていて、比較的まとまって手に入れやすい薬草です。乾燥された状態の方が活用もしやすく、また保存も容易です。中には、極端に加工してあることで肝心の有効成分が抜けてしまっているものもあるので注意してください。

そのクコですが、毒性がなく、たくさん使っても長期間使用してもよい生薬である上品(じょうほん)に分類されます。むしろ継続して長くとり続けることで効果が次第に強く表れるものです。

ちなみに上品の他に中品(ちゅうほん、梅など。そのままでは毒だが加工することで上品になる)や下品(げほん、トリカブトなど。

基本的に毒なので治療のために一時的に用いる)があります。

クコをひたすら根気に長期間とり続けることで滋養強壮、胃腸を整え、リンパの流れを良くし、腎臓病や糖尿病、神経痛やリウマチ、肝機能、動脈硬化も改善と様々な効果を得ることができます。

真つ赤な実には血行を良くするベタインやアキサンチンが含まれるそう、最近ではアンチエイジングに効果が高いと注目されているそうです。

クコの実はそのまますべて少量ずつ食べる、焼酎につけて薬酒として飲む、汁や鍋の具に入れる、おひたしなどでも食べることができます。

体力の落ちた人や病弱な人には数週間から数か月で効果が出ますが、通常は数年以上継続することで驚く程の効果が実感できるものです。

これまで薬草は乾燥させてお茶に、焼酎につけて薬酒に、といった加工することをお伝えしていますが、乾燥したクコならば、普段のちよっとしたお菓子代わりに食べることができ、とても手軽です。



(村上光太郎「薬草を食べる」より)

問 企画課 ☎ 0577-73-6558